

美術館・博物館 などの催し

土屋文明記念文学館企画展 「文学者の書―筆に込められた思い」*



正岡子規書簡 古島一雄宛 明治35年5月4日付
子規庵保存会蔵

会期 3月17日(日)まで

※火曜日休館

時間 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)

会場 県立土屋文明記念文学館(高崎市保渡田町)

内容 近代文学者たちが毛筆で書いたためた短歌や俳句などの作品を展示します。筆遣いと作品を併せて鑑賞することで、文学者の書の魅力に迫ります。また115年ぶりに発見された正岡子規最晩年の書簡(子規庵保存会所蔵)を特別展示します
観覧料 一般1140円、大学・高校生1200円、中学生以下1100円
関連行事
○ギャラリートーク

日程 2月9日(土)、3月3日(日)

時間 午後1時30分～2時

内容 展示資料について職員が解説します

費用 無料

※観覧料がかかります
申し込み方法 当日、直接会場にお越しください

○記念講演会

期日 3月17日(日)

時間 午後2時～3時30分

演題 文学者の書―その魅力を味わう

講師 石川九揚(書家)

定員 150人(先着順)

費用 無料

申し込み方法 電話または事前に来館

※定員に達しない場合は、当日も受け付けます。詳しくはお問い合わせください

申込・問 ☎027・373・7725

FAX 027・373・7725

21

近代美術館「群馬青年ビエンナーレ」*

会期 3月24日(日)まで

※月曜日(祝日の場合はその翌日)休館

時間 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)

会場 県立近代美術館(高崎市綿貫町)

内容 16～30歳の若手作家を対象とした全国規模の公募展です。斬新で柔軟な発想に満ちあふれた次世代アーティストの入選作品を展示します

観覧料 一般1300円、大学・高校生1150円、中学生以下1100円

問 ☎027・346・5560

FAX 027・346・4064

027・346・4064

日本絹の里「群馬の絹」展

会期 2月8日(金)～12日(火)

時間 午前9時30分～午後5時

会場 県立日本絹の里(高崎市金土町)



群馬青年ビエンナーレ2019大賞
赤松加奈《夕日の届くころ》

内容 群馬の絹・生糸を使用した和装品や洋装品、工芸品などの絹製品品の展示と販売を行います



絹製品の展示・販売

○手織り体験(コースター作り)

日程 2月8日(金)、9日(土)

時間 午前10時～正午、午後1時30分～3時30分

内容 絹糸でコースターを織ります

対象 小学生以上

※小学3年生以下は保護者の付き添いが必要

定員 各10人(先着順)

費用 320円(材料費)

○きもの着付け体験

期間 2月8日(金)～12日(火)

時間 午前10時～午後4時

※12日は3時まで

内容 講師に着物を着付けてもらいます。写真撮影もできます(協力:装道礼法きもの学院群馬県認可連盟)

費用 無料

※写真撮影は1枚100円がかかります

持参品 希望者はカメラ。職員が撮影の補助をします

○繭クラフト体験(まゆすずらんストラップ)

日程 2月9日(土)、11日(月)

時間 午前10時～正午、午後1時30分～3時30分

内容 繭を使ってスズランの花のストラップを作ります

定員 各20人(先着順)

費用 無料

○しおり作り体験

期日 2月10日(日)

時間 午前10時～正午、午後1時30分～3時30分

内容 繭を使っておしおりを作ります

定員 各20人(先着順)

費用 無料

○藍染め体験(インド藍)

日程 2月10日(日)、12日(火)

時間 午前10時～正午、午後1時30分～3時30分

内容 シルクのスカーフなどを藍染めします

対象 小学生以上

※小学3年生以下は保護者の付き添いが必要

定員 各20人(先着順)

費用 無料

※材料の布は当館「ミュージアムショップ」で購入してもらいます

【共通事項】

観覧料 無料

※「群馬の絹」展の会期中だけ申し込み方法 当日、直接会場にお越しください

問 ☎027・360・6300

FAX 027・360・6301

ぐんま天文台「スマホやデジタルカメラと、小型望遠鏡を組み合わせて月を撮影します。オリジナルの待ち受け画像にいかがですか

期日 2月16日(土)

時間 午後6時～8時30分

会場 県立ぐんま天文台(高山村中山)

費用 無料

※入館料がかかります

入館料 一般1300円、大学・高校生1200円、中学生以下1100円

申し込み方法 当日、直接会場にお越しください

その他 歩行が困難な人は、当館の駐車場と会場の間を送迎します。駐車

カネコ種苗ぐんまフラワーパーク「ハナモモフェスタ」*

会期 2月16日(土)～3月10日(日)

時間 午前9時～午後4時(入園は3時30分まで)

※3月1日(金)からは5時(入園は4時30分)まで

会場 カネコ種苗ぐんまフラワーパーク

埋蔵文化財調査事業団「公開考古学講座」

期日 2月23日(土)

時間 午後1時30分～3時(1時開場)

会場 前橋テルサ(前橋市千代田町)

演題 東京国立博物館を彩る群馬県出土の考古資料

講師 井上洋一(東京国立博物館副館長)

対象 高校生以上の人

定員 500人(先着順)

費用 500円程度(資料代)

申し込み方法 当日、直接会場にお越しください

問 ☎0279・52・2513

FAX 0279・52・2904

ぐんまちゃんの 群馬の魅力 再発見! 33

群馬の温泉「〇〇発祥の地」

群馬県には、「〇〇発祥の地」といわれる温泉地があるのをご存じでしょうか。温泉地の定番のお土産として全国各地で販売されている「温泉まんじゅう」。実は伊香保温泉(渋川市)が発祥の地といわれています。明治43(1910)年に伊香保の菓子店が、伊香保温泉の茶褐色の源泉・黄金の湯をイメージし完成させたのが、「湯の花まんじゅう」でした。これが「温泉まんじゅう」の元祖となり、全国に広まりました。また地図でおなじみの温泉記号「♨」は、万治4(1661)年に江戸幕府から出された農民の土地争いに対する評決文中の絵図に、磯部温泉(安中市)を表す記号として描かれていました。

調査の結果、これが日本で使われた最古の温泉記号と判明し、磯部温泉は温泉記号発祥の地となりました。

※群馬の魅力をもとめた冊子「ぐんまがいちばん!」は、県内取扱書店などで販売しています。また県ホームページ(<http://www.pref.gunma.jp/01/b0100132.html>)からご覧いただけます。

問 県庁広報課(☎027-897-2695 FAX027-243-3600)

伊香保の温泉まんじゅうを持つぐんまちゃん



スマホと望遠鏡を組み合わせて月を撮影

駐車場トイレ横のインターホンでご連絡ください
問 ☎0279・70・5300
FAX 0279・70・5544

カネコ種苗ぐんまフラワーパーク「ハナモモフェスタ」*
会期 2月16日(土)～3月10日(日)
時間 午前9時～午後4時(入園は3時30分まで)
※3月1日(金)からは5時(入園は4時30分)まで
会場 カネコ種苗ぐんまフラワーパーク

埋蔵文化財調査事業団「公開考古学講座」
期日 2月23日(土)
時間 午後1時30分～3時(1時開場)
会場 前橋テルサ(前橋市千代田町)
演題 東京国立博物館を彩る群馬県出土の考古資料
講師 井上洋一(東京国立博物館副館長)
対象 高校生以上の人
定員 500人(先着順)
費用 500円程度(資料代)
申し込み方法 当日、直接会場にお越しください
問 ☎0279・52・2513
FAX 0279・52・2904